

屋根の色選びは、環境性能を選ぶこと。

# select



## Solar Reflection by color

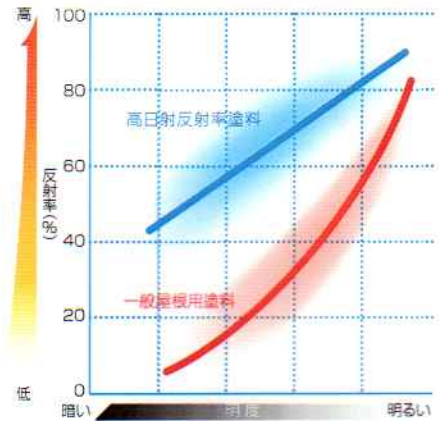
### 大切なのは色と熱の関係

アレスクールは特殊顔料を使用しているのですが、どの色でも、同じ色同士で比較すれば一般の塗料より効率よく赤外線を反射します。しかし、その反射率は色によって違いがあります。暗く濃い色ほど反射率は低くなり、明るく薄い色ほど反射率は高くなるのです。つまり、遮熱塗料といえども、黒系の遮熱塗料の場合、白系の一般塗料の方が遮熱性が高くなる場合があります。それほど色選びは遮熱に大きく影響するので、色の濃度に考慮することも重要

です。そのためアレスクールでは、遮熱効果の高さがひと目で分かるようにCOOLレベルを表示しています。また、建物のイメージや周囲の景観に配慮することも大切です。大きな建物に対しては景観法が制定されている地域もありますので、お困りの際にはぜひ弊社までご相談ください。

また、色選びの際には、建物のイメージや外壁色とのバランスや地域環境、景観法などさまざまな条件を考えると良いでしょう。

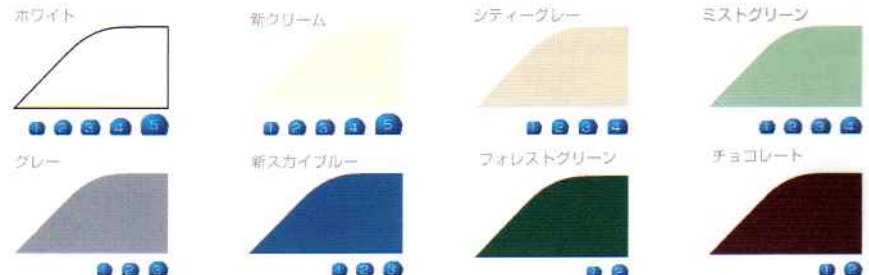
塗膜の明度と日射反射率の関係



## Cool Level

アレスクールの色選びの際は、遮熱効果を示したCOOLレベルをご確認ください。

- ※アレスクールの提案色は40色です。
- ※提案色以外の塗色も調色可能です。
- ※この色見本は、印刷のため実際の色・ツヤ・仕上がりと異なります。
- ※塗料の種類により同じ色相でも色やツヤが異なる場合があります。
- ※広い面積に塗装すると、実際の色よりも多少明るく見える場合があります。
- ※日射反射率は「JISK5602塗膜の日射反射率の求め方」に準拠し、アレスクールプライマー/アレスクール1液Siで日射反射率(近赤外線域)を測定しています。



COOLレベル	日射反射率
●●●●●●●●●●	80%以上
●●●●●●●●	70~80%
●●●●●●●	60~70%
●●●●●●	50~60%
●●●●●	40~50%

一般屋根用塗料との日射反射率の比較は、「塗膜の明度と日射反射率の関係」のグラフをご参照ください。



## Line up

### 用途に合わせたラインナップ。

太陽光線や風雨、雪などの自然現象から屋根を守るルーフペイントには、特に耐久性の高い樹脂を原料に使用します。樹脂の種類によって使う材質や性能も異なるため、長期的な保護にはフッ素タイプ、臭気などの環境配慮には水性など、用途や条件に合った塗料を選択することが大切です。

工程	商品名	系統	容量	適用素材
上塗り	アレスクール2液F	弱溶剤形2液フッ素樹脂 屋根用高日射反射率(遮熱)塗料	15kg (A:113.5kg 硬化剤1.5kg)	トタン、銅板、スレート、新生瓦など
	アレスクール2液Si	弱溶剤形2液アクリルシリコン樹脂 屋根用高日射反射率(遮熱)塗料	15kg (A:113.5kg 硬化剤1.5kg)	トタン、銅板、スレート、新生瓦など
	アレスクール1液Si	弱溶剤形1液アクリルシリコン樹脂 屋根用高日射反射率(遮熱)塗料	15kg	トタン、銅板、スレート、新生瓦など
	アレスクール2液U	弱溶剤形2液ポリウレタン樹脂 屋根用高日射反射率(遮熱)塗料	15kg (A:113.5kg 硬化剤1.5kg)	トタン、銅板、スレート、新生瓦など
	アレスクール水性F	水系1液フッ素樹脂 屋根用高日射反射率(遮熱)塗料	15kg	スレート、新生瓦など
	アレスクール水性Si	水系1液アクリルシリコン樹脂 屋根用高日射反射率(遮熱)塗料	15kg	スレート、新生瓦など
下塗り	アレスクールプライマー	弱溶剤2液変性エポキシ樹脂 屋根用高日射反射率(遮熱) 下塗り塗料	16kg (A:115.2kg 硬化剤0.8kg)	トタン、銅板、スレート、新生瓦など
	アレスクールメタルプライマー	弱溶剤1液変性エポキシ樹脂 屋根用高日射反射率(遮熱) さび止め塗料	16kg	トタン、銅板
	アレスクールシーラー	弱溶剤2液変性エポキシ樹脂 屋根用高日射反射率(遮熱) 下塗り塗料	16kg (A:115.2kg 硬化剤0.8kg)	スレート、新生瓦など